

# 第1回 十和田地域広域事務組合 ごみ有料化等検討委員会会議概要

日 時 平成20年 6月30日(月) 午後1時30分～午後3時20分

場 所 十和田ごみ焼却施設 2階 会議室

|       |       |      |
|-------|-------|------|
| 出席委員  | 上野俊治  | 中橋勇一 |
| 相内一   | 松橋均   |      |
| 種市輝夫  | 小林沢光男 |      |
| 漆館美香  | 伊沢花広美 |      |
| 富田義輝  | 立坂千恵子 |      |
| 鹿島千恵子 | 漆川直隆  |      |
| 柴山英夫  | 石村隆一  |      |
| 酒井正志  | 高村郁子  |      |
| 竹内操男  | 遠藤健治  |      |

事務局職員 鈴木事務局長、加賀澤業務課長、竹内課長補佐、佐々木課長補佐  
盛田主任主査、沢口主査

## 【開 会】

○はじめに、事務局より、検討委員会の公開について、住民に直結したごみ問題についての方向性を検討していただくことから、住民に、傍聴と公開を配慮することについて説明があり、委員から了解された。

## ○次 第

- (1) 委嘱状交付
- (2) 管理者あいさつ
- (3) 委員紹介、事務局紹介
- (4) ごみ有料化等検討委員会設置要綱の説明
- (5) 議 事
  - ①会長選出
  - ②副会長の指名
  - ③十和田地域広域事務組合のごみ処理の現状について
  - ④今後のスケジュール
  - ⑤その他

## (議 事)

### ①会長選出

「事務局」

会長の選出でございますが、ごみ有料化等検討委員会設置要綱第5条第1項の規定により、委員の互選により選出となっております。いかがいたしましょうか。

「委員」

私、以前でしたか、ごみ処理基本計画懇談会で一緒になったことがありますし、学識経験からも北里大学の上野先生にお願いしてはいかがでしょうか。

「事務局」

ただいま、委員から会長に上野委員を推薦するのご発言がございました。上野委員に会長をお願いしたいということですがいかがでしょうか。(異議なし)

○会長：上野委員が会長に選出される。

「会長」

私は、十和田に赴任しまして、22年になります。一市民として、ただでさえ税負担が増えたりする中で、行政政策が、さらに住民に負担を与えるということは、もろ手をあげて賛成といかないわけであります。しかし、ごみ有料化で減量して資源化していくというのは、この国の一つの流れという位置づけになっているようでございます。委員会を通じまして、本当に我々の住んでいる地域が、ごみ有料化するという時期に来ているのかどうか。さらには、そういう時期に来ているとすれば、どういう形で負担を住民の方に求めていくべきか、皆さんと勉強していきたいと思います。私自身納得出来るものになるように努めてまいります。ご協力よろしくお願いいたします。

### ②副会長の指名

「会長」

それでは、議事の2番目の副会長の指名ですが、ごみ有料化等検討委員会設置要綱第5条第1項の規定により、会長が指名させていただくことになってますので、私のほうから、中橋委員にお願いできればと思います。

○副会長：中橋委員が副会長に指名される。

### ③十和田地域広域事務組合のごみ処理の現状について

「会長」

続きまして、議事の3番。十和田地域広域事務組合のごみ処理の現状について、事務局から説明をお願いします。

○事務局、資料により「ごみ処理の現状について」説明。

「会長」

それでは、今の説明に関して、質問・ご意見等ございませんか。

「委員」

資料4の6ページ上に、資源ごみ搬入量とありますが、資源ごみを業者が勝手に回収(持ち去り)して持っていくます。リサイクル率向上という観点からも、持ち去りが騒がれだしてそろそろ3年になるのだからなんとかならないでしょうか。

「事務局」

ごみの持ち去りについての条例ということだと思いますが、組合での処理は、ごみの収集から最終処分までとなります。ごみを処理するにあたって、住民の方が収集場所に排出されるまで、つまり、

収集業者が収集するまでの間やごみの分別排出等、住民への周知・啓蒙についての活動は、市町村の事務と分けております。ごみの持ち去り条例につきましては、組合が収集する前の事務の範疇ですので、市町村で、ごみの持ち去りの条例などを制定してもらうことでの対応になります。

「委員」

資料４の６ページ下に、可燃ごみの組成分析結果がありますが、このデータは、水分を飛ばした値ということですが、焼却前の水分含有した比率は、どのようになりますか。

「事務局」

水分含有量は、ごみの量に対しておよそ５０％水分を含んでおります。ここに表したのものについては、水分を飛ばした乾燥後の比率です。水分を含んだ場合、重量比になってきますので、今、紙・布類が５３％となっておりますが、厨芥類が上にいきまして、５０％くらいの比率になると思います。紙・布類は、１５％くらいの水分含有量と推定しております。

「委員」

ここで表したものよりも、実際の施設では、はるかに厨芥類が大きいということですね。

「事務局」

生ごみが大きいです。

「委員」

色々な設備がありますが、施設見学はできますか。

「事務局」

ここには、焼却施設・粗大ごみ処理施設があります。次回以降、時間を取りまして、施設見学をしていただきたいと思います。

「会長」

資料４の１３ページで、組合内でのリサイクル率が上昇は見られず、減少傾向だとありますけど、品目でいうと、どれが足を引っ張っていますか。全体的に均等に低いということですか。

「事務局」

リサイクル率は、資源化量の全体で出しています。全国でも缶がいくらとか、細かい数値は出ていないので、あくまでも処理した資源化量で、びんとかペットボトルとか量の合計で出しています。

「会長」

品目ごとのリサイクル率を出すのは難しいですか。どの品目が悪いとか、地域性とか色々ありますけど。

「委員」

全体のリサイクル率ということでも、これから先進地域における調査もしますが、個別で、ここが頑張っているとか普通にやっているとか、ここの地域と似た地域の個別をいくつかピックアップして、比較してみてもはどうでしょうか。

「事務局」

環境省でやっております一般廃棄物処理事業実態調査がありますが、その調査によって出された品目ごとの資源化量合計のリサイクル率ということです。資源化量や個別のリサイクル率等につきましては、調査して次の検討委員会の時に資料として配付します。

「会長」

他に何かございませんか。

「事務局」

今日に限らず、いつでも質問をどうぞ。

#### ④今後のスケジュール

「会長」

続きまして、議事の4番目。今後のスケジュールについてということですが、事務局のほうからお願いします。

○事務局、資料により「今後のスケジュールについて」説明。

「事務局」

2回目のごみ有料化検討委員会ですが、この場所で7月30日午後1時半より開催したいと思います。

「会長」

それでは、今のスケジュール案に関して、質問・ご意見等ございませんか。

「委員」

次回の予定が入っていて、大変良いです。

「委員」

全国で一番、ごみの減量化が進んでいる都市はどこでしょうか。

「事務局」

鎌倉市です。鎌倉市では、リサイクル率45%ほどです。鎌倉市役所の入り口に、生ごみ処理機を置きまして、住民の方が生ごみを投入します。そして、堆肥化したのを住民の人が使うという取り組みなどしております。最近の全国のリサイクル率トップは、少しお待ちください。

「委員」

減量化トップっていうわけではないですが、取り組みで評価されているのは、水俣市です。

「事務局」

資料が手元にございませんで、後で全国のランキングを用意します。青森県内で一番良いところは、むつとか下北地方です。下北地方につきましては、ごみを燃やした後の焼却灰を溶融、ドロドロに高温で溶かして、それをスラグ化してのリサイクル率になってます。うちの組合のように、通常焼却灰を最終処分しているところと比較しますと、新郷村のリサイクル率が一番です。平成18年度の数値ですが、20.3%。下北では、佐井村が27.5%ということになっております。

「委員」

今あるもの以外で、減量化を図るということとはしないのですか。現状の中でリサイクル率をあげていきたいということですか。

「事務局」

最終的には、二通りになってきます。焼却灰のリサイクルについては、二次的にはリサイクル率がアップしますが、最終処分場の延命化がまず最初に考えられます。最終処分場の延命化のために焼却灰を埋立しないでリサイクルする。資源化することによって、副次的にリサイクル上昇となる。今、考えているのは、焼却灰のリサイクルをいれないで、あくまで現状で考えていただきたいです。

「委員」

今あるものの、リサイクルをしたいということですね。

「事務局」

現状処理のままで、リサイクル率をあげたり、ごみを減らすにはどうしたらいいか考えていただきたいと思ってます。

「委員」

そうなってくると浅い感じがしますね。例えば、生ごみを堆肥化して減量化するとか、そういう対策が全然見えてこないです。ただ資料の中に出てきたものだけの処理をどのようにするかわけで、何も見えてこないところがあります。どのような考えですか。

「事務局」

生ごみの堆肥化についても、事務組合では事業系ですが、処分業の許可を出しています。スーパーなどから出た食品残渣については、リサイクル出来る施設を組合が許可を出して事業系のごみについての、生ごみの堆肥化システムが構築されていますけど、家庭ごみの生ごみの堆肥化については、以前、構成市町村においてもコンポスト容器とか生ごみ処理機の購入に対する、補助・助成がありましたけど、今は、すべて廃止になっております。結局、生ごみを堆肥化したのをどこに使うのか、アパートで堆肥化したのをどこに使うのか、使用場所に困ってしまいます。一般の住民の方に、広まっていません。委員が言われるように、生ごみの堆肥化は必要になってくると思われます。けれども、この中で検討していただくのは、今ある組合の施設を使って、方法がないかということです。取り組みの中で、組合でも、生ごみを堆肥化したほうがいいんじゃないかという考えも検討していただいて、組合に対して意見の中に入れてもらっても構わないです。

「委員」

私、おいらせ町ですけど、町内の人達とごみの減量対策ということで堆肥化しています。農家の方が化学肥料を使って収穫量が減り、土壌も悪くなってきた、生ごみを堆肥化して土壌にかえしたいという意見があり、町内の方（サラリーマン）が、同調して今は、20件から40件になってます。この堆肥を使って作った野菜は、試食しましたがあまくて非常に美味しいです。農家の方も喜んでます。各市町村の農家に堆肥を提供するつもりでやっていけばどうかなあと思います。

「事務局」

ごみの減量の取り組みとして、生ごみの堆肥化もあります。発生抑制ですので、組合だけでなく、もっと市町村が主体となって住民と取り組むべきことになると思います。組合以外にも、ここに市町村の担当課の職員が5名来ておりますので、その方にも、生ごみの堆肥化について進めていただければと考えております。

「委員」

さきほど先生がおっしゃった、水分のことで影響してくると思いますけど。ちょっと絞っただけで20～50g減っちゃうからね。

「事務局」

皆様もごみを出すときに、そのまま出すのではなくて、ぎゅ〜と一握り絞っていただければ、水分が減りますのでごみの量も減ります。かなりの減量効果があると思います。

「委員」

そういう対策を知っている人達は関係者だけで、一般の人達に指導がなされていない。指導がもっと必要ではないかと思います。宜しくお願いします。

「会長」

宜しいですか。スケジュールに関しては、これで終了します。最後に事務局からお願いします。

## ⑤その他

「事務局」

本日は、長時間に渡りましてありがとうございました。次回の検討委員会は、7月30日金曜日午後1時30分からです。ご案内は、改めまして、郵送します。また、会場は、この会議室となりますのでよろしくお願いします。以上です。

## 【閉 会】

「会長」

それでは、これをもちまして本日の検討委員会を終了します。お忙しいところどうもありがとうございました。（ご苦労様でした。）